

# 学 校 だ よ り

平成30年3月1日



NO. 348

3月号

横浜市立茅ヶ崎小学校

校 長 宮崎 美代子

いちねん ふ かえ  
一年を振り返って

校長 宮崎美代子

「一月は、いっちゃん。2月は、にげちゃん。3月は、さっちゃん。」と言われることもありますが、今更ながら時の流れの早さに驚いています。ついに、一年を締めくくる時期となりました。初心者マークを体中に張り付けて、茅ヶ崎小学校に着任した私ですが、保護者のみなさま、地域のみなさまをはじめとする多くの方々に支えていただきましたおかげで、学校運営を進めることができました。数々のご協力に対し、改めて感謝申し上げます。今年度、本校では「茅ヶ崎のまちに学び、自分らしさを創る子～やってみよう、ふれあおう、きたえよう、あらわそう～」という学校教育目標のもとに教育活動に取り組んでまいりました。

## ■やってみよう(知)

子どもどうしの学び合いを深めるためにどのような働きかけを行ったらよいかを授業実践をもとに研究してきました。友達の意見や考えを聞くことから得るものが大きいことを改めて検証することができました。また、できるだけ一人ひとりに目や手をかけられるようにするために、算数少人数・TT・教科担任制・交換授業等学習形態を柔軟に変えていく取組をしてきました。担任だけでなく複数の教員で指導にあたるように、今後もできる限り指導体制の工夫を重ねていきたいと思いをします。

## ■ふれあおう(徳)

今年度の児童会のスローガンは「ありがとう、ことばでひろがる、えがおのわ」でした。子どもたちは、「あいさつ隊」、「虹を染めよう、いいとこ見つけ」等の活動を行い、よりよい人間関係を作ることを目指して取り組んできました。学校全体でも各クラスの人権目標、なかよし活動、道徳授業の参観人権移動教室、パラリンピアン学校訪問等を行ってきましたが、それが一過性のイベントで終わることなく日常的な豊かな心の育成につながるよう今後も様々な活動に取り組んでいきたいと思いをします。

## ■きたえよう(体)

学校保健委員会で「続けようよい姿勢、高めよう体力」をテーマに話し合い、姿勢週間やスポーツリズムトレーニング等による啓発を継続して行ってきました。児童会のイベントとして鬼ごっこ集会、健康ウォークラリー、ランニングタイム等で全校児童が積極的に体を動かす機会を作りました。体カテストの結果から子どもたちに巧緻性、敏捷性を養う経験不足が推察されるので、それらを補うような活動を取り入れていきたいと思いをします。

## ■あらわそう(公・開)

学校地域コーディネーターにより地域学校協働本部が立ち上がりました。今後、学校を応援して下さる方々の組織化が進むことが期待され、本当に感謝しています。どの学年も地域の方々にお世話になり、様々な教育活動を展開することができました。地域の「ひと」「もの」と関わりながらそこで学んだことを地域に発信していられるように、さらに地域とのパイプを太くしていきたいと思いをします。

さて、3月20日(火)に110名の卒業生に卒業証書を授与いたします。6年生は、最高学年として学校生活のあらゆる場面で活躍し、みんなをリードしてってくれました。この経験は、中学校に進学してからも必ず生きてくるはずですよ。

6年生の旅立ちまでの3週間、今までの感謝の気持ちを込めて在校生と教職員がお祝いの準備をしています。大きく成長した6年生の門出に際し、皆様からも大きな拍手をお願いいたします。

